

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)リーフィアレジデンス東林間	階数	地上7F
建設地	相模原市南区上鶴間七丁目5845番11	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	181人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	物販店、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2016年11月11日
敷地面積	1,430㎡	作成者	株式会社ナカノフドー建設
建築面積	764㎡	確認日	2016年11月11日
延床面積	3,732㎡	確認者	株式会社ナカノフドー建設



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み 55%

③ 上記+②以外の 55%

④ 上記+ 55%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
「爽やかな林間に拡がる都市」 : 自然と都市の融合を、本計画のコンセプトとした。		
Q1 室内環境 内装材は、ほぼ全面的にF☆☆☆☆としている。	Q2 サービス性能 劣化耐震等級3を取得予定である。	Q3 室外環境(敷地内) 中低木・庇により、日影を形成している。地表面温度・地表面近傍の気温等の上昇の抑制をしている。
LR1 エネルギー 高効率設備のLED照明を採用している。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が容易に分別可能である。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 55%

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される